

令和6年度下半期重要施策の定期報告について

(1) 未来羅針盤プロジェクトについて

4

①【地域医療奥州市モデルプロジェクト】 新医療センターの整備について

(担当：新医療センター建設準備室)

- 地域医療の現状などの共通認識を図り、新医療センターについて市民理解を深めるため、2月にシンポジウムを開催しました。
- 来場者294名、ライブ配信視聴160名、水沢テレビでも生中継及びライブ配信を実施。
＜主な内容＞
 - ・ 望月泉氏（全国自治体病院協議会長）による地域医療に関する基調講演
 - ・ 市長や関係者による「新医療センターの必要性とその課題」をテーマとしたパネルディスカッション
 - ・ 来場者からの質疑
- アンケート（回収率80%）では、地域医療の現状や新医療センターの必要性を理解する上で、とても参考になった又は参考になったとの回答が約7割であったことから、一定程度、市民理解を深めることができたと思えます。
- 今後、市民説明会の開催やパブリックコメントの実施を経て基本計画の策定を目指してまいります。

②【未来型公共交通プロジェクト】 A I デマンド等の取り組み

(担当：政策企画課公共交通対策室)

市地域公共交通計画（第4次バス交通計画）で掲げる“多様な交通手段の連携により、市民の暮らしを支え続ける便利で快適な公共交通ネットワークの構築”に向けて、デジタル技術を活用した利便性の高い公共交通システムの導入を進めました。

事業① 交通系 I C カード

市内を運行する路線バス（岩手県交通路線、Zバス、市営バス等）へ交通系 I C カード（地域連携 I C カード「Iwate Green Pass」のほか「Suica」や相互利用可能な全国交通系 I C カード）による決済システムを令和6年12月に導入しました。

事業② デジタルサイネージ

バスロケーションシステム（路線バスのダイヤや運行状況等のお知らせ）を表示するデジタルサイネージを令和6年12月に水沢駅・水沢江刺駅・江刺バスセンターの3ヶ所へ設置しました。



デジタルサイネージ

事業③ A I デマンド交通

前沢地域で運行している「ハートバス」において、予約対応やルート生成を行う A I システムを令和7年2月から導入し、運行しています。

- ・ 従前の電話に加えてアプリ予約（24時間予約）も可能
- ・ アプリで車両の運行状況確認が可能

